ヒューマンアカデミー日本語学校（HAJL）のご紹介

最先端の日本語教育を実践

ヒューマンアカデミー日本語学校(HAJL)は、1987年の大阪校、1991年の東京校創立以来、数千名の卒業生を社会に輩出してまいりました。豊富なカウンセリングを通じて、入学された方お一人おひとりの「セルフィング※」、そして「これから」を大切にしてまいりました。
HAJLでは、わかりやすく、学習者が中心になって主体的に進める授業を教育理念としています。目標言語である日本語を使って「何ができるようになるか」に焦点をあて、コミュニケーション力の養成に取り組んでいます。その結果、毎年たくさんの方が日本語能力試験に合格、大学や大学院、専門学校といった高等教育機関への進学を成功させています。

日本の労働人口減少が進む中、様々な産業で外国人材の登用が急ピッチで進んでおり、あらゆる業界で様々な日本語教育のニーズが高まっています。どのようなシーンにおいても、テストに解答する力ではなく、日本語を使って何ができるのかが重要なポイントとなっています。HAJLのこのような教育方針は様々な業界の企業の方にもご共感頂き、国内外を問わず多くの皆様への教育を実施させて頂いております。

※「セルフィング」とは、「自己確立のプロセス」のことです。本当の自分を発見し、確立していくプロセスを歩むという意味です。

◆ヒューマンアカデミー日本語学校の特徴

1. 約2500名（東京校、大阪校校舎在籍数合算）の留学生を擁する **日本最大級の日本語学校**
2. 常時40ヶ国以上の留学生が在籍する **国際的な環境**
3. 一方的に教えるのではなく、学生と共に作り上げる **生きた教室活動を実践**
4. 文法だけではなく、**読む、聴く、話す、書く**など4技能を全体的に伸ばす教育を実践

教育実習プログラムとは？

ヒューマンアカデミー日本語学校では、社会人として活動する人材の育成を目標として日本語教育を行っています。社会人として活動するには「わかる」だけではなく「できる」力が必要なことから、以下の項目を指導理念としています。

・CEFRの理念のもとに授業内容を構成し、評価します。

・行動中心アプローチに基づいて授業を行い、実社会で活きる日本語の運用力を育てます。

・学習者が中心になって主体的に動く「活動型の授業」を実践します。

・学習者同士がピア・ラーニングによって能動的、自律的に学ぶ環境を整えます。

学習者の「できる」力を育てる授業の実践力養成を目標として教育実習を行います。

Human
ヒューマンアカデミー日本語学校

http://hail.athuman.com

＜実習費用＞

平日7日間コース
46,200円（税込）

※別途テキストのご購入をお願いいたします。
※希望者は通学保険にご加入いただけます。

教育実習プログラム概要

＜教育方針＞
「学習者のプロフィシエンシーを育てること」を目標とし、協働学習による学習者主体の授業を行い、Active learningの実践を目指す。教室は、学習者が主体的、自律的に学ぶ場であり、学習者同士が日本語でコミュニケーションを行うことで学習を進める場である。教師はその場、つまり学習者同士の協働学習が起こる場を設定し、その場での学習者の活動を支援する。

＜実習期間と狙い＞

7日間コース（平日）
日本語教師を目指す方向けです。
現在、文化庁において「公認日本語教師」が検討されています。そこでは「日本語教師に必要な技能・態度に含まれる実践力を身に付けるため、教育実習を履修することが必要である」とされています。教壇実習の実施に当たっては教壇実習施設を利用することと、45分1コマの授業を2コマ以上登壇することが求められています。本実習はその要件を満たすものです。

＜実習概要＞

実習項目	日数	時間	研修内容	
	1日	2時間	オリエンテーション	日本語学校の仕事の概要を知る。教育実習全体の目的理解
			日本語学校紹介	日本語学校のコースデザイン・カリキュラム・授業形態・教師の仕事の概要を知る
実　習	7日間	56時間	教育理念・指導方針紹介	HAJL の日本語教育理念および授業方針を理解する
			毎日の教務の仕事体験	専任講師の授業以外の仕事を知る
			授業参可体験	学習者として授業を体験し、学習者の意識を理解する
			授業見学	レベル別に授業を見学し、1日の授業の流れを知る
				学習者主体の授業の進め方を学ぶ
				レベルによって教師の授業の進め方や、学習者の動かし方が異なることを知る
				教師と学習者および学習者同士のインターアクションのあり方を知る
			授業準備	登壇実習に向けた指導項目の分析をし、教案作成をする
			模擬授業（初級） （中級）	場面会話の練習、文型練習の進め方を理解し、実践できるようになる 学習者の協働的な学習の進め方を理解し、実践できるようになる
			登壇実習（45分2回）	本物の学習者のクラスで実習、振り返り
			科目別指導方法理解	各科目別の指導の方法を知る
			授業参加 初級・中級（TA として）	初級：場面会話の導入と文型練習を体験し、学習者が動く授業をすることができる
				中級：学習者の協働的な学習を支援する
				上級：学習者の主体的な学習活動を支援する
			学生対応（TA として参加）	
	1日	3時間	教育実習全体の振り返り	成果発表会、一人一人にフィードバック

お申し込みまでの流れ

ご所属の大学様よりお申込みいただきます
→ 当校担当者よりご本人様へ連絡いたします
→ 当校の事前面談を受けていただきます
→ 申し込みのご案内メールを受け取りましたら、お申込書送付とご入金をお願いいたします
→ 事前研修から実習が開始されます

＜ご注意＞ 未成年の方は保護者の方のご署名がない場合、お申込みできません。
別途実習の規約にご同意を頂いた方のみ受講できます。
実習は原則としてすべての日程に参加可能な方のみ受講できます。
教育者としての心得、自覚を持っての参加をお願い申し上げます。

東京校
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-9-9
早稲田予備校13時ホール7F
TEL.　03-5348-8951

大阪校
〒541-0057
大阪府大阪市中央区北久宝寺町2-5-9
飛栄創建ビル

Human Academy Japanese Language School